

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公開番号】特開 2019-51300 (P2019-51300A)

【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2018-156738 (P2018-156738)

【国際特許分類】

A 6 3 F 13/5375 (2014.01)

A 6 3 F 13/428 (2014.01)

A 6 3 F 13/55 (2014.01)

A 6 3 F 13/812 (2014.01)

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

【F I】

A 6 3 F 13/5375

A 6 3 F 13/428

A 6 3 F 13/55

A 6 3 F 13/812 D

G 0 6 T 19/00 3 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

現実空間における第 1 エリアを特定するステップと、
前記第 1 エリアに対応する仮想空間内の第 2 エリアを特定するステップと、
前記第 1 エリア内において、ユーザの身体の少なくとも一部の位置を検知するステップと、

前記ユーザの身体の少なくとも一部の位置に応じて前記仮想空間内のオブジェクトを前記第 2 エリア内において動かすステップと、

前記ユーザの身体の少なくとも一部の位置が正しく検知されないことによって生じる、前記仮想空間内における前記オブジェクトの位置の異常を検知するステップと、

前記異常の検知に基づいて、前記オブジェクトが異常位置へ動かされる直前における前記第 2 エリア内の位置を示す画像を生成するステップと、

前記画像を含むように前記仮想空間の視野画像を生成するステップと、
を含み、

前記画像は、前記異常が複数回検知された履歴に基づいて、前記オブジェクトが前記複数回の異常の各々に対応する各異常位置へ動かされる直前における前記第 2 エリア内の複数の位置を、前記仮想空間にマッピングすることによって表現される、情報処理方法。

【請求項 2】

前記異常を検知するステップは、前記仮想空間内における前記オブジェクトの位置の時間的変化に基づいて、前記異常が発生したか否かを判定するステップを含む、請求項 1 に記載の情報処理方法。

【請求項 3】

前記異常を検知するステップは、前記仮想空間内における前記オブジェクトの位置の時間的変化が所定の閾値よりも大きい場合に前記異常が発生したと判定するステップを含む、請求項 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 4】

前記画像は、濃淡、色、模様、若しくは図形の空間分布として表される画像、又は、前記オブジェクトと同一の若しくは前記オブジェクトを変化させた画像である、請求項 3 に記載の情報処理方法。

【請求項 5】

前記画像は、現在を含む所定の長さを有する時間期間内に取得された前記履歴に基づいて更新される、請求項 3 又は請求項 4 に記載の情報処理方法。

【請求項 6】

前記異常が検知されたことに関連する情報を、前記仮想空間を前記ユーザと共有している他のユーザの端末へ送信するステップを更に含む、請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 7】

前記異常が検知される頻度が閾値頻度よりも高いか否かを判定するステップと、
前記頻度が前記閾値頻度よりも高い場合に前記ユーザに警告を発するステップと、
を更に含む、請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 8】

前記ユーザの挙動を監視するステップと、
前記ユーザの挙動に基づいて前記閾値頻度を調整するステップと、
を更に含む、請求項 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 9】

前記ユーザの挙動は、前記異常が検知される回数、前記異常が検知されてから解消するまでの時間、又は現実空間における前記ユーザの身体の少なくとも一部の移動量のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 8 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】

前記異常が検知された場合に、前記仮想空間内で行われるゲームの進行を一時停止するステップを更に含む、請求項 1 から請求項 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 11】

現実空間において前記ユーザの身体の少なくとも一部を単位距離だけ動かした時に前記仮想空間において前記オブジェクトが動かされる距離を規定するための比率を設定するステップと、

前記異常が検知される頻度に応じて前記比率を調整するステップと、
を更に含む、請求項 1 から請求項 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 12】

前記比率を調整するステップは、
前記異常が検知される頻度を前記仮想空間内の各方向について特定するステップと、
前記仮想空間内の方向毎の前記頻度に応じて、前記比率を前記仮想空間内の方向毎に調整するステップと、
を含む、請求項 11 に記載の情報処理方法。

【請求項 13】

プロセッサと、
プログラムを格納するメモリであって、前記プログラムは、前記プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに、請求項 1 から請求項 12 のいずれか 1 項に記載の方法を実行させる、メモリと、
を備えるコンピュータ。

【請求項 14】

プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに、請求項 1 から請求項 12 のいずれか 1 項に記載の方法を実行させる、プログラム。